



平成29年6月29日

凡事徹底

本校は、学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業拠点校として子供たちが確かな学力を身に付けられるよう努めています。6月21日（水）には、授業公開を行い、西部教育事務所の先生方、近隣小中学校の先生方の参観をいただきました。このとき「素直にまじめに学習に取り組む子供たちですね」の言葉を何人もの先生方からいただきました。私も本校の子供たちのよさだと4月より感じていました。また、子供たちは「素直さ」「まじめさ」をどのようにして身に付けたのだろうかと思っていました。

6月15日・16日に5年生は、国立能登青少年交流の家で宿泊学習を行いました。「時間を守り整列が早い、話を真剣に聴き確実に事を進める」そんな子供たちです。予定通りにプログラムを終え、部屋に入りました。ここからはしばらくの自由時間です。「どのように過ごしているだろうか」部屋へ行ってみました。そこで素晴らしい光景が目に入りました。脱いだ靴が隙間なく一列にきれいに並んでいます。実は、この光景は校内でも度々、目についていたものです。いつでも、場所が変わっても同じように靴をきちんと並べられる。当たり前のこととしてできるようになっているということです。

やろうと思えば誰でもできることです。しかし、いつでも、どこでもやるというのは、けっこう難しいです。何か特別なことをやるのではなく、当たり前のことを徹底的にやり続ける。きっと、この凡事徹底により「素直さ」「まじめさ」を身に付けたのだと思います。凡事徹底の力は学校だけではなかなか身に付きません。家庭での生活により身に付けた力であることは間違ひありません。そんな家庭で育っている子供たちは幸せです。



〈きれいに並んだ靴〉



〈整頓された荷物〉